

APEX News No.21



アペックスの SDGsの取組み



貧困、紛争、気候変動、感染症。人類は、これまでになかったような数多くの課題に直面しています。

そんな危機感から、2015年9月の国連サミットで「持続可能な開発目標「SDGs」(Sustainable Development Goals)が採択されました。2030年までに達成すべき17の目標です（日本ユニセスホームページ）。

当社の SDGs に関する業務には次の目標に関わりがあります。

目標3 すべての人に健康と福祉を「あらゆる年齢のすべての人々の健康的な生活を確保し、福祉を促進する」

◇感染症の取組み

当社が所属する(公社)日本ペストコントロール協会は、感染症予防衛生隊を全国規模で組織して、その一員である(公社)東京都ペストコントロール協会は感染症発生時の消毒、災害時の防疫作業、感染症を媒介する害虫獣の防除、害虫相談等を行っています。

これまでの取組みをご紹介します。

<デング熱>

第二次大戦中・戦後に国内のデング熱患者は20万人以上でした。2012年には代々木公園で70年ぶりのデング熱の国内発生、162名が感染、東京都との協定によりその日のうちに媒介蚊の駆除、その後5回の駆除により感染拡大を抑え込むことができました。



<蚊媒介感染症のサーベイランス>

1999年、ニューヨークでウエストナイル熱が発生、瞬く間に全米に拡がり、1999年から2023年までの24年間に累計約30,000人の患者が報告され、その内約3,000人が死亡しています。

東京都は渡り鳥により都内に持ち込まれないか、蚊の調査を東京都ペストコントロール協会に委託、25公園で監視を続けています。当社は日比谷公園を担当しています。



<高病原性鳥インフルエンザ>

2003(平成15)年12月、山口・大分・京都で79年ぶりに高病原性鳥インフルエンザが発生、以後各地で毎年のように発生しています。当社も2016年に新潟県で発生した際に出動、蔓延防止のため車両消毒を行いました。幸い都内での発生はありませんが、発生に備えて東京都家畜衛生保健所と「特定家畜伝染病緊急支援業務協定」を結んでいます。



<新型コロナ消毒>

当社が所属する東京都ペストコントロール協会と東京都及び東京消防庁との協定により、救急車及び新型コロナウイルス感染軽症者待機施設・ホテルの消毒に3年間で延べ1万6千人が365日、24時間体制で出動しました。



<東日本大震災時の感染症消毒、ハエ駆除出動

2011（平成 23）年、東日本大震災で冷凍倉庫の魚が腐敗したためハエが大量発生、全国から当社を含め PCO 協会会員延べ 1 万人が駆除に出動しました。ペストコントロール協会は国の災害時の緊急出動を行う D-マートの一員として登録しています
写真は当社社員が岩手県石巻における冷凍倉庫のハエ駆除作業と瓦礫の消毒作業の様子です（2011 年 9 月）。



災害時の防疫作業

日本各地で台風や地震などによる水害や土砂崩れなどの災害が毎年のように発生しています。
当社も感染症予防衛生隊の一員として床上浸水などの防疫作業に出動しています。写真は 2019 年 10 月に 19 号台風により多摩川が内水氾濫、被災家屋の消毒作業の様子です。



◇害虫相談

日本ペストコントロール協会は 6 月 4 日を「ムシの日」と定め、全国でイベントを開催、害虫の展示や害虫相談を行っています。当社は毎年、東京都港区で「みなと区民まつり」に出展、20 万人の人出があります。東京都ペストコントロール協会では都民から 1 年間で 1 万 2 千件を上回る害虫相談に応じています。



◇有害な化学物質による危害をなくす

シックハウスなど化学物質による過敏症を防止するため、日本ペストコントロール協会は 2002 年に IPM 宣言を行い、殺虫剤や殺鼠剤の使用を極力減らし、捕獲器などによる物理的防除や環境整備、侵入防止など様々な方法による総合的有害生物防除（IPM）を進めています。

目標 13 気候変動及びその影響を軽減するための緊急対策を講じる

◇特定外来生物の対策

1995 年にセアカゴケグモが大阪府高石市で初めて発見されて以降、大阪府や兵庫県、その後も範囲を広げ、44 都道府県で生息が確認されています。また、2017 年に兵庫県尼崎市において発見されたヒアリは、その後全国のコンテナふ頭で発見されています。協会は環境省や東京都から調査と駆除依頼を受けています。また、アライグマやハクビシンの防除も行っています。

目標4 「質の高い教育をみんなに」、「目標12つくる責任、つかう責任」

◇持続可能な消費生産形態を確保する

弊社は殺虫剤を散布する噴霧機において長期使用可能なB&Gハンドスプレーヤーを30年以上採用し、従業員に対してメンテナンス方法を教育することで環境への負荷を大幅に削減しています。その功績が極めて顕著であることを認められました。

発行 アペックス産業株式会社

〒105-0014

東京都港区芝2-23-4

TEL:03-3455-6474

FAX:03-3455-6558